

## 課題に対する委員の意見

### [瀬戸介護事業連絡協議会]

- 瀬介協は、各事業所の訪問介護等を支援している。
- 瀬戸市役所から「担い手養成研修」を実施してもらい、簡易な内容であれば、ヘルパー等の担い手は確保されつつある。
- 移動や買い物についても事業所としては解決されている。(事業所の車があること等)
- 10/13に「秋おどり」を開催した。事業所を地域の方に知ってほしい。(顔見知りになりたい)
- 災害の際の避難所として活用いただくなど、災害時の受け皿としても皆様の力になりたい。
- その他の課題として認知症の方の情報共有を挙げたい。事業所としては、160の事業所で個人情報等の情報共有をしているが、行政やその他の団体とどのように取り組んでいけるか知りたい。

### [瀬戸市老人クラブ連合会]

- 老人クラブとしては、『孤立を防ぐ』ということを念頭に活動している。声掛け等を行い、個人が孤立しないようにしている。
- 介護サービスの世話にならないように何かスポーツに取り組むように促している。

### [やすらぎ地域包括支援センター]

- 包括の地域ケア会議でも移動や買い物が問題となっているケースが多い。
- 現状の介護保険制度は、要介護認定された方はサービスを受けることができるが、要介護でない方には、サービスが行き届かない。(些細な困りごとに対応できない)
- 地域の関係が希薄であることもその他の課題としてある。(ひきこもり40代の息子がいる世帯の孤立等も課題) (『孤立の防止』が必要)

### [生活支援コーディネーター(第一層)(松田氏)]

- 社協としてバスでのお買い物ツアーを行うなどしている。
- 地域でもバスや車を運行しようという動きがあるが、誰が運転するのか、運転手が事故した際の責任をどうするのか等の課題がある。
- 介護事業所の送迎車両を活用できないか検討していきたい。
- 移動と買い物を連携させて検討していきたい。

## 課題に対する委員の意見

[生活支援コーディネーター（第一層）（山城氏）]

- 皆様と情報共有できるようになりたい。（課題や地域資源を教えてほしい）
- 情報共有する場を設けたい。

[瀬戸市自治連合会]

- 担い手不足については、担っている方を評価していない、担っている方が評価されていない事が一因であると思う。（主催側の楽しさやモチベーションに繋がらない）
- サロン等の話でも、できる方にさらに依頼が増える一方で負担が偏る。
- 主催者が楽しくできるようにし、「自分もあの人の様に楽しく何かをやりたい」と思っていたかないと担い手が増えていかない。
- 『小さな親切、大きなお世話』と思われてしまう。
- 担い手が担い手不足の危機感を周りに伝えられるようにしていくべき。
- ボランティアも楽しくできるようにしていきたい。
- 自分が自治連合会を担っていこうと考えたのも、初めは少しだけのつもりだったが、楽しさ（やりがい）と自分のため（見識が広がる）といった感情から長いこと続けさせてもらっている。
- 移動や買い物についても地域の関係団体でできることを検討していきたい。

[地区社協会長連絡会]

- 幸い自分の長根地区の方は気が付く方が多くて助かっている。
- 地域でお茶を飲みに行こうと誘いだしてくれる方もいて、実はお茶が目的でなく、買い物に連れ出してくれているなどもあり助かっている。

[公益社団法人瀬戸市シルバー人材センター]

- 地域のニーズがあるはずなので、シルバーとして応えていきたい。
- 人間関係ができていないとニーズがあっても派遣が難しい。（家に入れてもらえない等）地震対策で家具の転倒防止を付ける等簡易な作業をやっただけだと難しい。（社協等の信頼がある団体の協力がほしい）
- シルバーの会員の活動として単独行動はしないようにする。（二人以上で行動するためコストは上がってしまうが責任の問題等あるのでご理解いただきたい）
- 地域班という活動を平日のみでなく、土日にも広げていきたい。
- 地域班の活動を活性化させるためにも地域のニーズを知りたい。